

高音質電話

高音質電話とは

- 標準音質の音声通話(3.4kHz帯域)に比べ、約2倍の帯域(7kHz)を利用した高音質な音声通話が可能サービスです。
- 高音質電話は、高音質電話の契約者同士で高音質電話に対応した電話機同士で通話が可能です。標準電話機と接続した場合は、標準音質の音声での通話が可能です。
- NTT西日本／東日本間で高音質通話が可能です。

クリアな音声で
コミュニケーション

高音質電話
対応機器同士で
利用可能

高音質音声通話

みんなの声が
クリアに伝わる!



通話料金

ひかり電話 オフィスタイプ

ひかり電話オフィスタイプを音声のみで利用する場合

8円(税抜)/3分

ひかり電話 オフィスA⁺

ひかり電話オフィスA(エース)を音声のみで利用する場合

プラン1 県内 **6円(税抜)/3分**
県間 **10円(税抜)/3分**

ひかり電話オフィスA(エース)を音声のみで利用する場合

プラン2 **8円(税抜)/3分**

※NTT東西の加入電話・INSネット・ひかり電話サービスおよびコラボ光ひかり電話(テレビ電話・データコネクト(データ通信)・データコネクト通信中の音声通話は除く)、他社加入電話、他社IP電話(050番号への通話を除く)へ発信の場合。携帯電話等への通話料金は異なります。県内とは、平成11年郵政省令第24号(平成11年7月1日施行)によって定められた区域をいい、行政上の区分とは異なる場合があります。

- 他のサービスと組み合わせてご利用の場合、利用できないもしくは一部機能が制約される場合があります。
- NTT東日本エリアにてひかり電話ビジネスタイプ(IP電話サービス)からひかり電話オフィスA(エース)に移行された一部の番号に対して、本機能を用いた接続はできません。
- 双方がフレッツ 光ネクストまたはフレッツ 光ライト、一部の「コラボ光」、ビジネスイーサワイドのいずれかとひかり電話サービスをご契約の上、各サービスに対応した情報機器等をご利用いただく必要があります。

ご利用上の注意事項

- 高音質電話が可能な通信相手は、NTT西日本／東日本の「フレッツ 光ネクスト、フレッツ 光ライト、一部の「コラボ光」(いずれもFTTHアクセスサービス)またはビジネスイーサワイド」におけるひかり電話サービス契約者です。
- 高音質電話を利用する場合、本サービスに対応した機器(IP電話会議装置 MEETING BOX、高音質電話機 ひかりクリアフォンHQ-100等)およびソフトウェアが必要となります。

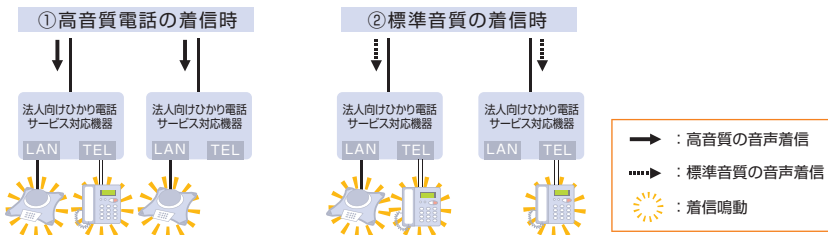
【1XY番号への発信】

・104、110、119等の1XY系には、高音質電話ができません。ただし、発信側端末から標準音質の音声による自動再接続を行った場合は、標準音質の音声通話として接続します。

【着信鳴動】

・法人向けひかり電話サービス対応機器配下の高音質電話機、標準音質の音声電話機すべてが鳴動します。

【着信時の鳴動】



※発信側端末から標準音質の音声による自動再接続を行った場合には標準音質の音声にて鳴動します。

「法人向けひかり電話サービス」とは、「ひかり電話オフィスタイプ」「ひかり電話オフィスA(エース)」「いずれもIP電話サービス」を指します。

記載の料金はすべて税抜となっています。
消費税が加算されます。

他のオプションサービス等と合わせてご利用いただく場合の留意事項

| | |
|----------------------------|---|
| <p>■ボイスワープ ■一括転送機能</p> | <p>・高音質電話の転送可能な条件は以下のとおりです。</p> <p>①転送先が、高音質電話接続可能であること。 ★転送先が契約条件や端末条件により高音質電話接続ができない場合は、転送はできません。 標準音質の音声通話にて自動再接続された場合は転送できます。</p> <p>②発信者が高音質電話契約を有するひかり電話サービスで高音質電話発信した場合であること。</p> |
| <p>■ナンバーディスプレイ</p> | <p>・標準音質の音声通話と同様に、着信時に表示します。</p> |
| <p>■ナンバーリクエスト</p> | <p>・標準音質の音声通話と同様に、接続を拒否します。ただし、発信が高音質電話の場合、網側から発信側端末に対して「発ID通知要請」信号を送信し、発信側端末が標準音質の音声通話で自動的に再発信したときのみガイダンス応答します。(ガイダンス応答した通話は、発信者に課金されます。)</p> <p>・標準音質の音声にて自動的に再発信しない場合、ガイダンス応答しません。</p> |
| <p>■迷惑電話おことわりサービス</p> | <p>・「迷惑電話リスト」への登録は、標準音質の音声通話と同様に、迷惑電話を受けた直後に登録操作を行うことにより、同じ電話番号からの着信を拒否します。</p> <p>・網側から発信側端末に対して「発ID通知要請」信号を送信し、発信側端末が標準音質の音声通話で自動的に再発信したときのみガイダンス応答します。(ガイダンス応答した通話は、発信者に課金されます。)</p> <p>・標準音質の音声にて自動的に再発信しない場合、ガイダンス応答しません。</p> |
| <p>■複数チャンネル</p> | <p>🔴 ひかり電話オフィスタイプでご契約のお客さま</p> <p>・同時に最大8通話(契約チャンネル数の範囲まで)利用できます。 ★ひかり電話オフィスタイプ対応機器によって、最大通話数が異なります。</p> <p>🔴 ひかり電話オフィスA(エース)でご契約のお客さま</p> <p>[フレッツ 光ネクスト利用の場合]</p> <p>・同時に最大76通話(契約チャンネル数の範囲まで)利用できます。 ★フレッツ 光ネクスト ビジネスタイプ(FTTHアクセスサービス)にて76チャンネル以上のチャンネル数をご利用の場合は、契約チャンネル数に関わらず最大76通話までとなります。</p> <p>[ビジネスイーサ ワイド(帯域確保型)、 ビジネスイーサ ワイド パーストプラン(一部帯域確保型)利用の場合]</p> <p>・イーサ品目により最大通話数が異なります。同時に通話できるのは、イーサ品目ごとの最大通話数(契約チャンネル数の範囲)まで利用できます。</p> |
| <p>■追加番号</p> | <p>・標準音質の音声通話と同様に、複数の電話番号(契約電話番号+追加番号)で利用できます。</p> |
| <p>■着信お知らせメール</p> | <p>・標準音質の音声通話と同様に、着信情報を指定のメールアドレスに送信します。</p> <p>・発信側端末から標準音質の音声による自動再接続を行った場合の着信についても、お知らせメール対象となります。なお、その際のお知らせメールは1通です。</p> |
| <p>■FAXお知らせメール</p> | <p>・FAX受信「開始」で高音質電話着信時は網から「標準音質の音声通話接続」を促す信号を返送します。発信側端末から標準音質の音声による自動再接続を行った場合は接続後、FAX受信エラーとなります。</p> |
| <p>■フリーアクセス・ひかりワイド</p> | <p>・高音質電話にて、着信課金番号(「0800」「0120」から始まる番号)への着信はできません。</p> |